



🌻 休憩時間と遊びの大切さ

子供たちは遊ぶことが大好きです。学校は「学習の場」とはよく言われますが、「遊びの場」と言われることはほとんどありません。しかし、私は子供たちにとって、もっと言うと人間にとって「遊び」はとても大切だと考えています。

晴れた日の大休憩や昼休憩の子供たちの様子を見てみると、実に真剣に、懸命に、全力で、楽しそうに遊んでいる子供たちの姿をそこら中で見かけます。15分か20分程度の休憩時間は、大人からすると「たった何分間しかない」感があるのですが、子供たちにとっては長く感じられる大切な時間だと思います。

本校では、月に1回程度「ロング昼休憩」というのがあります。通常の昼休憩に加えて掃除時間も休憩時間となるため、35分間たっぷり遊べます。このときは教員も外に出て一緒に遊びますので、子供たちのテンションも上がります。休憩時間にたっぷり心身を開放すれば、その後の授業にも集中できそうです。

こういう話題を書いている思い出したことがあります。もう30年以上前、私が大学生のときに受講していた教職の講義で、フランスのカイヨワという社会学者のことを教わったのです。カイヨワは遊びと発達について研究し、遊戯論という新しい理論を提案した人です。大学生当時はすごい理論だと思わずに講義を受けていましたが、今、子供たちが遊んでいる姿を見て、あらためて遊びの大切さを実感しているところです。



🌻 ドミソ発表会に向けて

11月6日のドミソ発表会（音楽発表会）に向けて、学年ごとに最終リハーサルをしています。昨年はコロナ禍と体育館の工事により、動画による配信のみとなった音楽発表でしたが、今年は入替制ながら保護者の方にも観覧していただくことができます。児童は当日、他学年の発表を見ることができないため、互いのリハーサルを鑑賞しました。本番まであと少し、最後の仕上げをして最高の発表を当日披露できるようがんばってほしいと思います。

